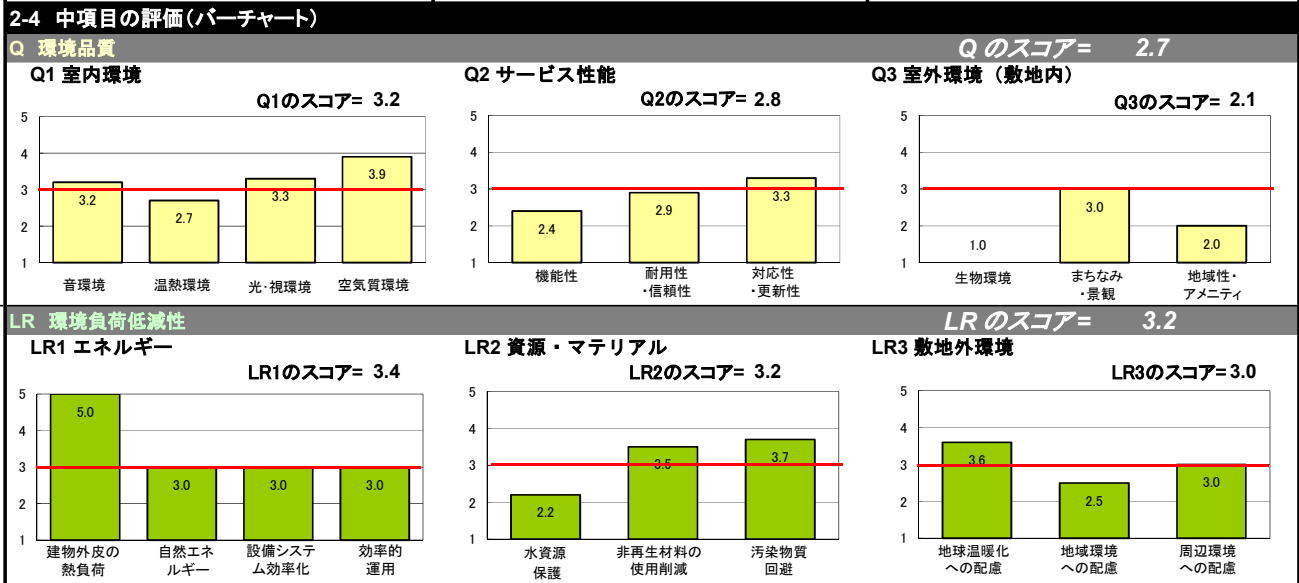
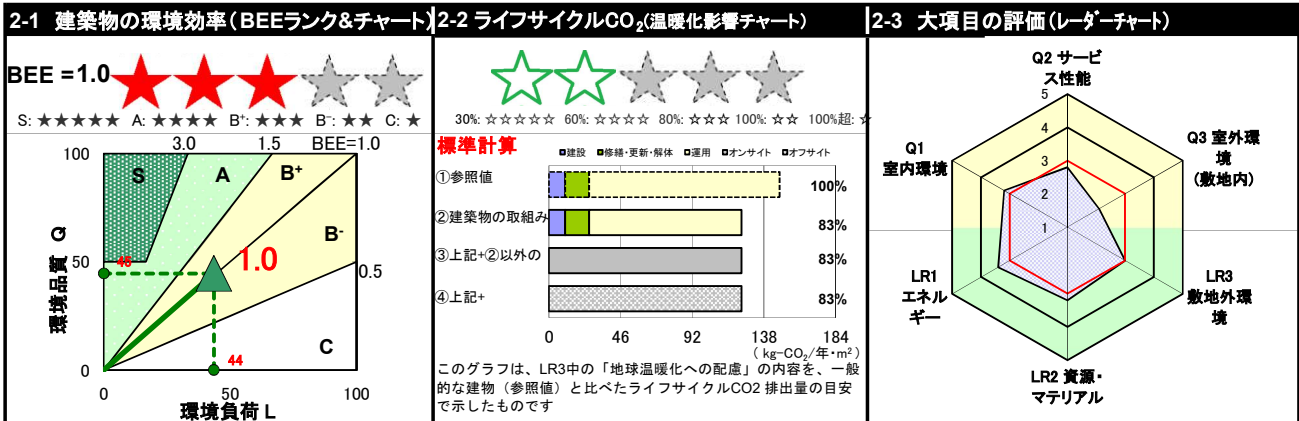




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	芹が谷やまゆり園新築工事(センター棟)	階数	地上2F
建設地	神奈川県横浜市港南区芹が谷二丁目1236番11ほか	構造	S造
用途地域	1種住居、防火地域 指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年9月 予定	評価の実施日	2020年7月1日
敷地面積	3,080 m ²	作成者	宮尾 欣佑
建築面積	1,268 m ²	確認日	2020年07月20日
延床面積	2,369 m ²	確認者	黒岩 祐治



3 設計上の配慮事項

総合		その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		特になし。
Q1 室内環境 床、天井のうち二面に吸音材を使用している。 2.5%≦ [昼光率]。	Q2 サービス性能 階高: 3.800m, 5.000m。 0.1≦ [壁長さ比率] < 0.3。	Q3 室外環境 (敷地内) 1.2)空地率:58.84%。
LR1 エネルギー BPI _m =0.70。 [BEI][BEI _m] = 0.80。	LR2 資源・マテリアル LGS使用している。 ODP=0かつGWPが低い発泡剤 (GWP (100年値) が1以下) を用いた断熱材等を使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して83%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

